

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第2回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	平成29年3月23日(木) 午後6時00分から 午後7時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所第2庁舎204会議室
出席委員(者)氏名	手塚崇子委員(会長)、田中公明委員、五十嵐修委員、竹内真希委員、小針依莉子委員、熊木崇人委員
欠席委員(者)氏名	市川俊行委員、高井良奈緒美委員
担当課職員職氏名	健康福祉部副部長兼保育幼稚園課長 伴 茂樹 子育て支援課長 山崎純子 子育て支援課子育て支援係 係長 木村みのり 子育て支援課子育て支援係 主事 石井賢聖 子育て支援課相談・給付係 係長 坂本 祐介 保育幼稚園課保育幼稚園係 係長 渡辺剛 保育幼稚園課施設運営係 係長 森田武
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開 会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて (2) 小規模保育事業の認可及び利用定員について (3) 認可保育所の利用定員について 4 その他 5 閉 会 ※ すべて公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	資料1-1 子ども・子育て支援事業計画の変更(案)に対する ご意見の内容とそれに対する市の考え方 資料1-2 子ども・子育て支援事業計画新旧対照表 資料1-3 変更後の子ども・子育て支援事業計画 資料2-1 小規模保育事業の認可及び利用定員について 認可保育所の利用定員について 資料2-2・3 施設概要
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録

	□要点記録
会議録確認指定者	熊木崇人委員、田中公明委員
その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p><b>1. 開会</b></p> <p><b>2. 会長あいさつ</b></p> <p><b>3. 議事</b></p> <p>(1) 吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて</p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p>資料1-1 子ども・子育て支援事業計画の変更(案)に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方</p> <p>資料1-2 子ども・子育て支援事業計画新旧対照表</p> <p>資料1-3 変更後の子ども・子育て支援事業計画</p> <p>(説明概要)</p> <p>計画に記載している「量の見込み」及び「確保の内容」の見直し案について、パブリックコメントを実施した。</p> <p>パブリックコメントを受けての変更は無と判断している。</p> <p>計画に関する意見以外については、個別に回答することを説明。</p>
委員	<p>(質疑応答)</p> <p>リフレッシュの一時預かりの件について、数値について問題があるというよりもリフレッシュの理由では、保育園に預けられないのが現状。保育園側の受け入れ枠に余裕がないと、年齢の小さいお子さんは預けられない、就労が理由で一時保育を利用している方が優先で、リフレッシュの枠がないというのが現状。リフレッシュは、母親の気分転換が目的。子どもの年齢が小さいほど母親はこもってしまう。</p> <p>ファミサポも利用はできるが、一時間800円(平日は600円)</p>

	<p>は負担も大きい。</p> <p>リフレッシュで保育園に預けるといふのと、ファミサポなどを利用し、知らない人に預けるのでは、保護者の安心感が違う。</p> <p>数値よりも現状を知ってほしい。</p> <p>リフレッシュを理由に預かってもらえるのは2園しかないのか。</p>
担当課	<p>公立2園、民間が1園であるが、利用料金は異なる。</p>
委員	<p>市の回答を受けたお母さんは納得できないのではないかと。</p> <p>もう少しリフレッシュ枠で受け入れられるように検討してもらいたい。</p> <p>民間への働きかけはできないのか。</p>
担当課	<p>公立では、1日預かって1,700円である。このくらいの金額であれば負担にならず、1日預けて気分転換になることは認識している。</p> <p>新設の民間の保育園については、事業者と市で調整する中で、事業者から一時保育の実施について回答をいただいている。利用料金については、どのような支援ができるのか、今後考えていきたい。</p>
会長	<p>民間にも公立の役割を担っていただかなければいけない時期に差し掛かっている。認可保育所が新しく建つときには、市からも一時保育事業について働きかけてもらえるようお願いしたい。</p>
委員	<p>一時保育の利用について、リフレッシュは月一回。就労の場合は何日利用できるのか。</p>
担当課	<p>就労の場合は週3回までの利用となる。</p>

委員	同じ人が継続して預けていることが多いのか。
担当課	そのような方が多い。
委員	月一回のリフレッシュ枠を拡大することはできないか。
担当課	来年度当初も、待機児童が発生する見通しである。待機となられた方の中には、一時保育を利用しながら就労しなければならない方もいる。そのような状況のため、保育の受入の量を増やしていかなければならないという認識は持っている。通常保育の量が確保できれば、もう少し利用のルールを見直し、リフレッシュの枠も確保できるのではないかと考えている。
委員	意見の冒頭に、あえて「癒着のない複数の大人が」と書かれているところが気になる。特別な意味合いを持っているのではないだろうか。何かそういった現場を見たのではないか。
委員	この方はあんまりかまってほしくないのではないかと。 人によっては、話しかけてもらいたいお母さんもいる。
委員	逆に疎外感を感じていたのではないかと。一部の方だけが集まって、自分が入れないため、あえてオープンな場が欲しいのではないかと感じる。
会長	言葉の表現も見落さないでほしい。
	<p><b>(2) 小規模保育事業の認可及び利用定員について</b></p> <p><b>【関係資料】</b></p>

	<p><b>資料2-1 小規模保育事業の認可及び利用定員について</b></p> <p><b>認可保育所の利用定員について</b></p> <p><b>資料2-2・3 施設概要</b></p> <p><b>(説明概要)</b></p> <p>平成27年度から子ども・子育て支援新制度が創設されたことに伴い、年齢が3歳未満で、定員が19名以下の小規模保育事業の制度ができ、市が認可をする際には、児童福祉法に基づき児童福祉審議会において意見を聞くことになっている。また、認可保育所については、認可権は埼玉県にあるが、子ども・子育て支援法に基づき、定員に関して、児童福祉審議会に意見を聞く必要がある。</p> <p>(資料に基づき、各施設について説明)</p>
委員	認可保育園のウエルネス保育園の開所時間が7:00から18:00となっているが理由はあるのか。
担当課	開所時間は19:00までとしてもらうよう協議済みである。
委員	他市の話で、小規模保育の連携先として幼稚園に連携をお願いしているが、幼稚園が受け入れの準備をしても、保護者の希望もあり、全てが入所につながる訳ではないということを知った。幼稚園が受け入れを拒んでいるわけではないことを理解してもらいたい。
会長	小規模保育に通っている方が幼稚園を希望した場合、幼稚園の預かり時間は何時までなのか。
委員	幼稚園は教育的施設なので、保育所のように長時間預かることはできない。長期休みもあり、保護者のニーズとはずれることもあ

	る。
会長	預かり保育推進事業が進んでいると思うが、実際の利用はどの程度か。
委員	現状は、仕事のためというより、上の子の授業参観など学校行事の際などに利用している人が多い。吉川市内だと幼稚園の預かり保育については、18時くらいまでが多いのではないか。
会長	小規模保育と幼稚園の預かり時間が異なっていることが課題である。
委員	5市1町の幼稚園協会としては、保育所と幼稚園の違いを認めあっていけばよいという意見がある。利用時間もわかって選択しているため、幼稚園に入っている保護者からは、時間に関する意見はない。
担当課	市内の小規模保育園の状況としては、現在は3園、4月からは5園、そのうち連携が図れているのは、1園のみである。小規模保育が始まって2年目になるが、3歳の入所が、難しくなっている傾向が今年の利用調整の状況でも見られる。3歳については、市としては、小規模から認可保育所に優先的に入れるよう配慮をしている。 小規模保育の連携園の設置については、5年間の経過措置もあるので、今後、市に相談があることも考えられる。小規模保育に入所している方が、3歳以上の利用施設がなく、生活に困らないように市としてもできる限りの支援をしていきたいと考えている。
会長	北陸などでは、長期休みにも開園している幼稚園もある。地域性

	もあるだろうが。
委員	私の勤務する認定こども園では、今の時期は一時保育の利用が増える。理由は、幼稚園が春休みだから。幼稚園の長期休みだけ預かれる制度や施設があれば、幼稚園に預ける人が増えるのではないか。
委員	幼稚園の春休みと言っても、先生が休んでいる訳ではない。幼稚園の長期休みに保育園で預かってくれると働いている保護者に入園の説明をしやすい。
会長	一時保育は大事だと思う。新しくできる認可保育園が一時保育事業を実施してくれるのはよいことだ。
委員	フルタイムで働く人ばかりではない。幼稚園開園の時間のみ働いている人もいる。そのような方達にとっては、幼稚園の長期休みは困る。今は、保育園に入らなければ働けないという風潮があるから、幼稚園という選択肢がない。幼稚園も連携している保育園があるとよいと思う。
会長	品川区でも幼稚園が19時ころまで預かる場所があり、小規模の連携先として機能している。
	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度児童福祉に関する予算と事業概要の報告</li> <li>・来年度の児童福祉審議会について</li> </ul>

4. 閉会

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年 4月12日

署名委員 田中 公明

署名委員 熊木 崇人